

1-11 緊急告知 FM ラジオ (システム NO-72)

(株)エフエムくらしき

システムの概要

システムの目的

コミュニティ FM 局の放送波を使い、行政が出す避難勧告・指示などの情報を、昼夜を問わず、また停電時でも、伝えたい場所に迅速、確実にピンポイントで伝える。

システムの設置場所

コミュニティ FM 局 (又は CATV 局) に信号発生装置を設置。緊急割り込み放送に関する協定を結んだ行政の災害対策本部に信号発生装置を置くこともできる。端末のラジオは受信可能エリア内ならばどこにでも設置可能。

システム構成

コミュニティ FM 局 (又は CATV 局) に信号発生装置を設置する。告知端末は諸施設、事業所、家庭に設置されたこの FM ラジオである。

システムの特徴

コミュニティ FM 局の電波を使い起動信号 (音声信号) を送出、告知端末である「緊急告知 FM ラジオ」の電源を強制的に ON にし、ラジオが配備されたところに確実に情報を伝えることができる。ラジオの電源は、別の終了信号により、強制的に OFF にすることもできる。充電式バッテリー内蔵なので停電時も使用可能。コミュニティ FM 局がない場合は、CATV 網でも伝達可能である。

システムの初期投資額およびランニングコスト

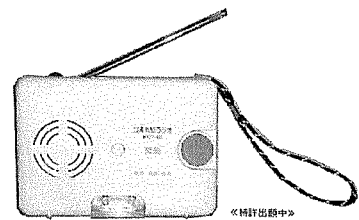
初期投資額の大半は緊急告知ラジオ

(1台 8,000 円程度) × 配備台数。

ランニングコストはほとんどかからないが、当該コミュニティ FM 局による若干のメンテナンス費用が発生する。



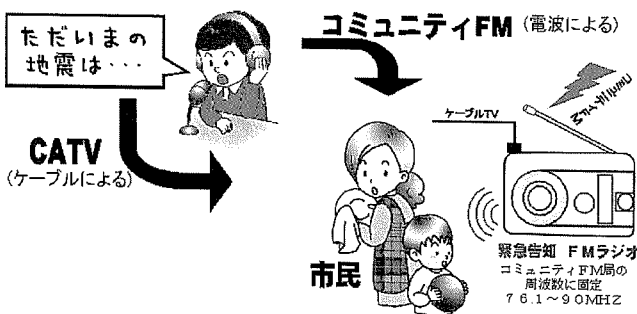
災害時はコミュニティメディアの出番です



〇〇〇ラジオ (仮称)

特徴

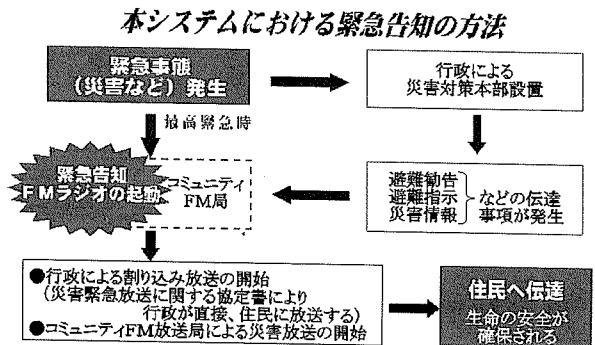
- 緊急時には強制的に受信電源が ON となり大音量で緊急放送を聞くことができる
- 緊急時には強制的に内蔵ランプが点灯し、暗闇でも安全に避難できる
- ラジオを室内に設置するため、悪条件 (大雨・大風等) でも聞き取れる
- 停電時の情報伝達に有効 (充電式電池内蔵)
- 平時は一般の FM ラジオとして利用できる (受信状況が悪い地域では CATV を通じて受信できる)
- システムが簡単で安価 (工事不要) ※CATV 接続の場合は工事必要



ただいまの地震は...
CATV (ケーブルによる)

コミュニティFM (電波による)
ケーブルTV
FM 76.1MHz
緊急告知 FM ラジオ
コミュニティFM局の周波数に固定
76.1~90MHz

強制的にラジオの電源をONにして緊急情報を確実に伝えます



導入までの状況

システムの導入主体

行政（災害対策関係部門など）が望ましい。
地域のコミュニティ FM 局（又は CATV 局）
が実施機関となる。

システム導入の背景

様々な防災システムがあるが、どのシステムも
単独では十分な効果が確保されない。
防災システムの構築には官の側で、多額のコスト
がかかる。そのインフラの一部を民が分担するこ
とで、行政コストは削減できる。

システム導入までの経緯

民間の自主防災組織を構築し、その代表者宅や
情報リーダー宅に緊急告知ラジオを配備すること
により、迅速な避難行動が期待される。当該行政
区域内の全戸に配備すれば多くの住民の命が守ら
れる。

定期的に行われる地域防災訓練には実証実験を
行い性能、効果を確認する。

システム導入にあたって克服した課題

災害時に屋外に持ち出すため、簡易防水仕様と
する。

停電時には自動的に付属するランプを点灯させ、
非難時の安全を確保する。

コミュニティ FM 放送だけでなく CATV 網も
情報伝達手段とする。

システム導入の成果

平成 18 年度に岡山県倉敷市で本システムの導
入が予定されている。

新潟県長岡市など複数の市町村で本システムの
導入が検討されている。

当該システムに関する連絡先

所属機関：㈱エフエムくらしき

担当者名：代表取締役 大久保 憲作

TEL：086-430-0600 / 090-3170-0639

Ken4bax@oka.urban.ne.jp

